

操作が後手後手



約12キロ離れた上空から撮影した福島県の東京電力福島第1原発1号機(奥左端)。12日午前9時35分、共同通信社ヘリから

福島原発ドキュメント

【11日】

14時46分ごろ 地震発生。福島第1原発、第2原発で稼働中の計7基が自動停止

16・36 福島第1原発1、2号機で外部電力の供給が失われる。東電が原子力災害対策特別措置法に基づく緊急事態を通報。国内初のケース

19・03 菅直人首相が福島第1原発で初の「原子力緊急事態宣言」

20・50 福島県が福島第1原発の半径2キロ以内の住民に避難呼び掛け

21・23 首相が福島第1原発の半径3キロ以内の住民に避難、10キロ以内に屋内退避を指示

22・05 福島第1原発で「炉の一つが冷却できない状態」と判明

【12日】

0・49 福島第1原発1号機で原子炉格納容器内の圧力が高まっ

たと東電が国に報告

1・57 福島第1原発1号機のタービン建屋内で放射線レベルが上がっていることが判明

3・00ごろ 福島第1原発1号機で、国が格納容器の圧力を下げるため放射性物質を含む可能性がある蒸気を弁から放出すると発表

5・44 福島第1原発1号機の中央制御室で放射線量が上昇し、避難指示区域を半径3キロから10キロに拡大

6・25 福島第1原発の正門近くで、通常の8倍以上の放射線量を検出しが判明。放射性物質が外部に漏えい

6・38 福島第1原発1号機の中央制御室の放射線量が通常の千倍になったことが判明

7・40 福島第2原発の1、2、4号機が冷却機能を失い、東電が

国に緊急事態を通報したことが判明

7・45 福島第2原発にも「原子力緊急事態宣言」を拡大。半径3キロ以内の住民に避難、10キロ以内に屋内退避を指示

8・03 東電が福島第2原発の炉4基すべてで蒸気を放出する準備に入ったことが判明

9・00すぎ 福島第1原発1、2号機の格納容器内の蒸気を放出する作業を開始。福島第2原発1、2号機でも作業開始

9・10 福島第1原発の正門近くの放射線量が通常の70倍以上に上昇

11・20 福島第1原発1号機で、炉心水位が低下し燃料が最大90%露出したことを示す数値。燃料破損の恐れ

14・00すぎ 福島第1原発1号機の周辺で放射性物質のセシウムが検出されたことが判明。炉心溶融が起きたことを確認